

令和2年度「地方公共団体の地域課題」概要

課題番号	分野名	対象地域		地域課題の概要及び希望するICTソリューション
1	観光	岩手県	金ヶ崎町全域	<p>●AR・VRによる鳥海柵跡の仮想体験を含むICT活用特設サイト 国史跡・鳥海(とのみの)柵(さく)跡は、敷地内に指定を示す標柱と概要を記した説明板を設置しているが復元整備に未着手のため、現状は草原の状態であり、史跡の往時の状況が容易に想像することができず来訪者数が伸び悩み史跡の価値を来訪者に十分に伝えられていない。 史跡の復元整備を進めるためには多くの費用と時間を要することから、来訪者が史跡の本来の姿を体感可能な情報をAR・VR技術による提供の提案を希望するとともに、あわせて本史跡の魅力を町ホームページで紹介する特設サイトの提案を希望します。</p>
2	官民協働サービス	岩手県	金ヶ崎町全域	<p>●ICTによる除雪作業の効率化 現在、パトロールや住民の苦情により路面状況を把握し、除雪車に出動指示を行い、稼働時間を除雪車に装備されているアワーメーターによりオペレーターが目視確認。これをFAXで役場へ送信し、役場では職員がPCでエクセルに入力、集計している。 CCTVや気象観測装置の情報を基に出動指示を行い、GPSで除雪車の位置情報を管理し、稼働状況を自動的に日報に記録。苦情対応や予算管理に活かし、ICTを活用した車両運行効率化・人員の負担軽減など除雪運行管理システムの構築。</p>
3	防災	岩手県	久慈市全域	<p>●雨水排水ポンプ場のリアルタイム遠隔監視・操作の確立 雨水排水ポンプ場の増加に対し、大雨等に対応する職員数の不足による現場と対策本部の情報連絡に遅延が生じている。 ICTを活用し、雨水排水ポンプ場のリアルタイム遠隔監視・操作により下水道事業の迅速かつ安全運営、職員の負担軽減を補完するシステム提案を求める。 将来は公共下水道終末処理場・漁業集落排水処理場・マンホールポンプ場の遠隔監視・操作を可能にし、通報方法・監視システムの一本化を図りたい。</p>
4	防災	岩手県	岩手町全域	<p>●水害情報の伝達システム構築 河川映像・水位情報をリアルタイムで確認できる河川カメラの設置をし、浸水可能性区域の住民が迅速に河川映像や水位状況を把握できるような体制を整備することが必要。</p>
5	医療・介護・健康	岩手県	岩手町全域	<p>●幅広い世帯が快適で住みやすい街にするための情報化構築 光ファイバー整備を基盤とした、岩手町の抱える課題に対応しながら安心した暮らせる情報化を推進する。 ・バスや電車による移動手段がない過疎地でのコミュニティバス・タクシーの運行もあるが、毎日運航されている訳ではないため、ICTを活用したより柔軟性のある移動手段の確保(マッチングシステムによるオンデマンド化等)。 ・高齢化が進む中、移動せずにいけるサービスを構築。 (光回線を利用した各種行政手続き・証明書の発行、オンライン診療による薬の郵送、ICTを活用した高齢者見守り)</p>
6	農林水産業	福島県	天栄村全域	<p>●有害鳥獣感知システム 天栄村においては平成23年に発生した「東日本大震災に伴う福島第1原発事故」に起因して、野生動物の出荷制限がかかり、それにより狩猟者が山に入る機会が減少したことで、有害鳥獣が増殖し、特にイノシシについては10年前と比べて100倍以上の捕獲頭数となっており、農作物や農地被害についても拡大の一途を辿っている。 村内の狩猟者は高齢化が進み、今後はより有効かつ効率的な捕獲手段が必要であるため、イノシシの位置情報をICTを活用して把握したい。</p>
7	農林水産業	福島県	天栄村全域	<p>●農地管理システム 天栄村はその大半が中山間地にある農業地帯であり、水稻を始めとした農業が基幹産業であるが、近年の地球温暖化の影響により、従来は越冬しなかったカメシなどが増殖し、作物の品質低下を招いている。 そのためには除草適期などを捉えた定期的な農地管理が必要であるが、中山間地域のため急傾斜の畦畔が多く、また、農業従事者の高齢化が進み、今後、ますます作業が困難になることも予想されるため、ICTを活用した雑草の発生状況把握や自走除草機などを利用した省力化を図り、さらには若手担い手の就業促進を図りたい。</p>
8	子育て	福島県	県中地域	<p>●きめ細かな予防接種アプリの開発 少子化が進む中、ひとり子どもが地域や家族にとってますます貴重な存在となり手厚い子育てが望まれる中、医療提供者から見て予防接種を適切な時期に受けることが大切で、いくつかの予防接種アプリが存在するが利用者のニーズを満たしたアプリ開発が必要。 予防接種は子どもから感染症を予防する唯一の手段であり複数回接種が必要な予防接種が数多くありますが、それぞれ接種間隔が異なり、対象疾患への予防接種時期を保護者が把握することは容易ではなく、1回目と2回目の接種の地域や医療機関が異なる場合でも1回目に接種した液薬情報をスマホ画像・PDF化する等の詳細履歴を保存できる機能は大切です。 子育て世帯は共稼ぎも多く仕事を休んで予防接種を受けに来るが接種時期を知らせる機能やウイルスなど医療情報をプッシュ型で母親に発信する機能を備えたアプリの提案を希望します。</p>